

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

肛門管癌の病態解明と Staging に関する研究

2. 対象となる方

1991年1月1日～2015年12月31日までに肛門（管）癌に対して治療が開始された患者さん

3. 研究目的

当院では、大腸癌研究会のプロジェクト研究「肛門管癌の病態解明と Staging に関する研究」に参加しています。

本邦の大腸癌取扱規約は腺癌を中心に分類されています。しかし、肛門管癌の特殊性のために大腸癌取扱規約に合致しない事項があるのが現状です。肛門管腺癌に対する主な治療法と肛門管扁平上皮癌に対する主な治療法とは異なっています。

このため、今回の研究では、本邦における肛門管癌の病態解明とともに、肛門管扁平上皮癌の実臨床に沿った Staging を行い、その治療方針の提案を行うことを目的としています。

4. 研究期間

2018年5月（倫理審査委員会承認後）～2019年12月31日（予定）

5. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：性別、年齢、診療内容、治療の詳細、再発や生存に関する情報など

試料：病理診断で腺扁平上皮癌（肛門管癌全体の約3%程度）と診断された手術切除標本

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関（大腸肛門病センター高野病院）に提供させていただきます。また、病理標本を病理学施設（新潟大学大学院、国立がん研究センター東病院、東京慈恵会医科大学、福岡大学筑紫病院）へ提供します。研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】郵送・宅配、電子的配信

7. 研究組織

大腸肛門病センター高野病院 山田 一隆 ほか

大腸癌研究会プロジェクト研究 <http://www.jscrr.jp/index.html>

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：

大腸肛門病センター高野病院 院長 山田 一隆

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院外科 副院長 岡島 正純

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院外科 住谷 大輔